

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 吉田 節美
 幹事 石黒 正則
 会報・雑誌委員長 大口 弘和

No. 29 ローターの夢を追い続けよう FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998～99年度 RI会長 ジェームス・レイシー

きょうの例会
 第795回 平成11年3月2日(火)

講演 米山奨学生 李 敏華さん
 “百貨店のあれこれ” 会員 酒井 淳二君

先週の記録
 第794回 平成11年2月23日(火) 晴
 友愛の日

◆“我等の生業”

◆黙想～食生活～

◆出席報告

会員	71(67)名	出席	52名
出席率	77.61%		
前々回	2月9日	(修正出席率)	98.51%

◆ゲスト紹介

名古屋市千種消防署 署長 小川 博市氏

ニコボックス

秋山 茂則君 毎月23日は文の日です。
 菊池 昭元君 理事会を欠席します。
 黒野 貞夫君 今日から玄之会書展を県美ギャラリーで開催します。
 田部井良和君(蟹愛好家連盟) 小林 明さん先日はありがとうございました。
 鷺野 義明君 しつこい風邪です。
 吉田 節美君 先週例会お休みして申し訳ありません。
 足立 一成君、浅井 誠寿君、萩原喜代子さん、林 哲央君、伊藤 健文君、神崎 住恵さん、加藤 大豊君、河村 政孝君、小林 明君、小杉 啓彰君、小山 雅弘君、小坂井盛雄君、久野 峯一君、松居 敬二君、松島 孝彰君、三輪 康君、三好 親君、水野 民也君、水野 賀績君、水谷 祥督君、中根 三郎君、成田 良治君、西川 豊長君、西野 英樹君、大谷 和雄君、鷺谷 龍男君、佐久間良治君、佐野 寛君、鈴木 正男君、鈴木 理之君、竹内 眞三君、田中 昭二君、舎人 経昭君、和田 正敏君、山田 壽勝君、

山本 英次君、吉田 玄君 余寒の厳しき折、体にご気を付けましょう。

田部井副幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方は3階鳳凰の間にお集まり下さい。
2. 次回例会終了後、ライラ実行委員会を開催致しますので担当の方はお残り下さい。
3. 名古屋ボストン美術館より案内とパンフレットが来ておりますので、興味のある方はお帰りにお持ち下さい。

◆マルチプル・ポール・ハリスフェローピン及びポール・ハリスフェローメダル授与



会長よりマルチプル・ポール・ハリスフェローとして三好 親君と竹内 眞三君にピンが、山田 壽勝君にポール・ハリスフェローとしてメダルが、それぞれ贈られました。

中根社会奉仕委員長より報告

この度、千種消防署は希望ヶ丘2丁目に新庁舎を建てられ、3月18日に完工式が行われます。
 クラブとして日頃区民の為、救急・防災等でご活躍の消防署に役立てて頂くべく、落成の記念として何かお贈りしたいとご相談した結果、救急・救命に役立ちます心肺蘇生用の訓練人形2組と付属品を寄贈することになりましたので只今より目録の贈呈式を行います。

寄付目録贈呈



会長より小川署長に新庁舎落成式記念寄付目録が贈呈されました。

名古屋市千種消防署

小川 博市署長 挨拶

本日は、千種消防署に対しまして心肺蘇生用訓練人形をご寄贈賜り、ありがとうございます。

千種消防署が一昨年より移転改築を進めておりました新庁舎が3月18日に完成する運びとなり、その記念としてご寄贈頂きました訓練用的人形は、市民・区民の皆さま方の応急手当て、救急訓練用の教材として、大いに活用させて頂き、救命率の向上に力をそそいでまいりたいと思います。

ここで2点ほど救急に関する課題を申し上げますと、一点は救急車の要請が大変多くなっており、救急需要が激増している事です。昨年一年間の名古屋市での救急車出動件数は7万件を越し、これを1日当たりに入りますと220件ほどの出動となります。さらに今年に入りまして1月はインフルエンザが猛威をふるい31ある救急隊が全て出払うという状況になり、このままですと、あと8年後には名古屋市は10万件を突破する救急需要となりますので、区・市民の皆さまに正しい救急車の利用について今後さらに広報していくという有り方が必要となり、又行政の方でも車を増やしてもらえよう国に働きかけているところです。

またもう一点は救命率の向上であります。人が呼吸を停止してから3分以内に人工呼吸・人工マッサージを行うことにより75%の救命率があると云われ、これが4分以内では50%、5分以内は25%と段々低くなっていきます。しかし私共の車が現場に到着するのに平均6分かかり、この間に適切な応急処置を行うのが大変重要になってきます。こういった事を区・市民の皆さまに徹底したいと今、各消防署では救急手当ての講習をしており、中区の伏見ライフプラザでも毎月定期的に講習を行っております。心肺蘇生用訓練人形を十分に活用し区民の皆さまに応急手当ての普及・啓発を図り、市民の皆さまと私共行政と医療機関がスムーズに連絡が出来ることにより救命率の向上に今後、一層力を入れていきたいと思っております。

皆さまに頂いたご厚意に応えるべく救急・防災活動に署員一同頑張って参りますので、これからも暖かいご支援・ご指導賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

また、千種ロータリークラブの益々のご発展と、皆さまのご健勝、ご多幸を祈念致しまして、お礼のことばと致します。

吉田（節）会長挨拶

本日は自動車の話をさせていただきます。

自動車のエンジンを空転させているアイドリングは、人間の大変ムダな行為で地球を痛めつけている事は皆様充分お解りの事と思います。東京都では赤信号や、渋滞になるとエンジンを止めるバスが走って居り、最近名古屋でも見られる様になりました。この様なバスに初めて乗った人はエンストかなとびっくりする様がありますが、実はこれはエンジンのムダな空転を防ぐアイドリング防止運動の一環で、東京都は数年前から停車中は自動的にエンジンの止まる装置を採用し全部バスの約20%が、又、全国で12の公営バスと36の民間バスが同じようなアイドリング防止装置を導入して居る様であります。

アイドリングは地球温暖化の元凶であり、二酸化炭素の排出量を増す為、防止を実行すればいい事は解って居りますが、つい怠るのが我々人間の悲しい性であります。そこで費用はかかるがアイドリング防止装置をつけ機械に代行させているわけで、会社に依っては相当強い通達を出し抑制に努めて居る様ですが、冬の寒い時期など暖をとる為にアイドリングをする車が増加して来ます。

「わかっちゃいるけど、止められない」と言う所の様であります。

地球温暖化防止会議で決った日本のCO₂削減量は車両関係部門では2010年で1300万tで、車を運転する時のちょっとした努力だけでも削減に大いに寄与する事が出来る訳で、今世紀は確かに「自動車の時代」でありました。これに依り我々の生活は格段に便利になり、経済発展の原動となって来た事には間違いない事実ですが、その反面交通事故、大気汚染、騒音、廃棄物等の問題を投げかけて来ました。その為21世紀には車を主役から脇役へと転換して行く必要があります。それには、

- 1) 出来るだけ車をつかわない社会
- 2) 乗るなら低公害車を選ぶ

等、なるべく自動車に頼らない仕組と暮らしをめざして社会全体で知恵をしぼり変わって行く事が必須条件ではないでしょうか？

◆2月度理事会議題

1. ライラセミナー委員会報告・準備資金借入れの件
2. 千種警察被害者支援活動の件
3. 22RC社会奉仕委員会報告の件
4. 臨時雇用者の規則の件

◆次回例会（3月9日）

クラブフォーラム

名古屋名城RAC 会長 樋口 慎一郎君
〃 幹事 遠藤 賢彦君